

●発表日: 令和 7 年(2025年)6月25日

渥美半島の道路整備について

1 概要

能登半島地震での地域の長期孤立の深刻な状況等を踏まえ、同様な災害リスクを抱える渥美半島の防災力を早期に強化するなど、『強靱で信号のない道路』の整備により「半島防災」を進め、市民の命と暮らしを守り地方創生を推進します。

2 内容

南海トラフ地震の発生確率がより高まっていることや、令和 6 年に発生した能登半島地震での“地域の長期孤立”の深刻な状況を踏まえ、同様な災害リスクを抱える渥美半島において、市民の命と暮らしを守るため、「半島防災」を最優先に実現する必要があります。

また、渥美半島は、日本の食料安全保障の一翼を担う指定野菜の一大産地であり、農業生産を維持し続けるためには渥美半島に安心して住み続けられることが必要です。救急搬送においては、第 3 次救急医療施設である豊橋市民病院まで渥美半島の西側約半分の地域が平均 60 分以上を要することから、移動時間の短縮を図るとともに、観光アクセス改善による渥美半島の地方創生の実現を図ることも重要であります。

田原市としては、半島地域における命と暮らしを守る道路整備をできるだけ早く、着実に進めることが喫緊の課題と捉え、一般道で現道等を活用し、国道 259 号などの交差点部の立体化やバイパス整備等による機能強化を推進し『強靱で信号のない道路』の整備を目指していく方針といたしました。

これにより「半島防災」を進め、市民の命と暮らしを守り地方創生を推進してまいります。

3 今後の取組

渥美半島における命と暮らしを守る一般道の整備を推進するため、愛知県、田原市による「渥美半島の道路整備に関する検討会」を設置し、国土交通省にも参画していただき、整備方針案をとりまとめてまいります。